

湛水土中（カルパー）直播栽培特報 第2号

平成30年5月
富山市農業協同組合
富山農林振センター

～JA富山市米品質向上生産運動展開中～

- ◎ 苗立後は、**浅水管理**を徹底し、初期生育の促進に努めましょう。
- ◎ 5月下旬頃から、茎数は急激に増加します。**溝掘りは早め**に実施し、遅れずに**中干し**を開始しましょう。

1 出芽期以降の水管理

① 苗立後～6月上旬 【浅水管理】

- 朝夕かん水・日中止め水で水深3cm前後の浅水管理で生育を促進し、早期に分げつを確保する。
- 表層剥離の見られる圃場は、2日程度の田干しを行い田面を落ち着かせて下さい。

② 6月上旬までに 【溝掘】

- 溝掘りは6月上旬までに必ず実施しましょう。
- 溝は10～15条に1本の割合で掘り、水尻としっかり連結しましょう。

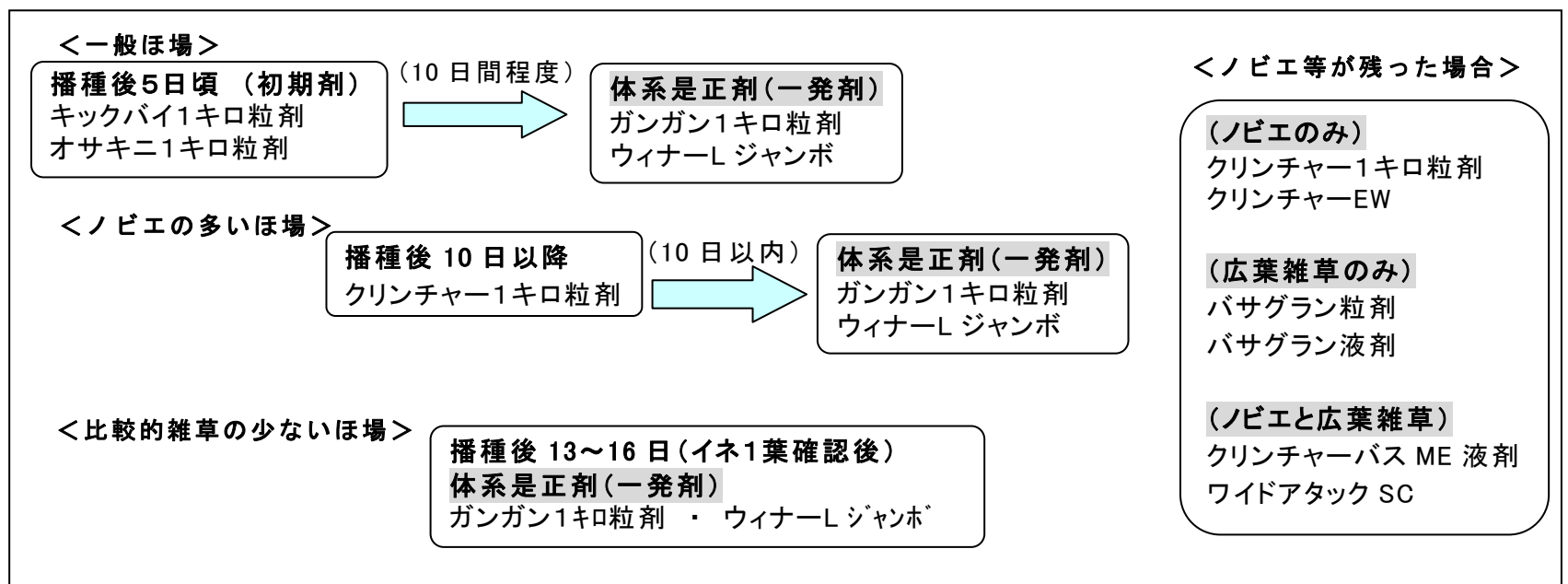
③ 6月上旬～中旬 【中干し開始】

- 1m間の茎数が100本程度になったら遅れずに、**中干しを開始**しましょう。
- 土の表面に小さな亀裂が入り、田面が硬くなるまで田を干し、出穂後20日間の湛水管理に備えましょう。



中干し開始時期の生育量

2 雑草防除



- ※ 除草剤の使用に当たっては、使用方法を必ず確認してください
- ※ 除草剤を散布する前に、2日程度の田干しを行ってください
- ※ ノビエ等が残った場合は、営農指導員にご相談ください。

3 葉いもち防除

○葉いもちの発生を防止するため、予防粒剤を散布しましょう。

散布時期	薬剤名	使用量	備考
6月10～15日 （中干後）	オリゼメート1キロ粒剤	1kg/10a	散布後4～5日程度は「湛水状態」を保ち、7日間は落水や掛け流しをしない

～ 生産履歴の記帳と適正農業管理（GAP）に取り組み、「安全・安心」な米づくりを進めましょう ～
～ 生産履歴の記帳と適正農業管理（GAP）に取り組み、「安全・安心」な米づくりを進めましょう ～